

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-027489

(43)Date of publication of application : 29.01.1999

(51)Int.Cl.

H04N 1/21
H04L 12/54
H04L 12/58
H04M 11/00
H04N 1/00
H04N 1/32

(21)Application number : 09-179345

(22)Date of filing : 04.07.1997

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

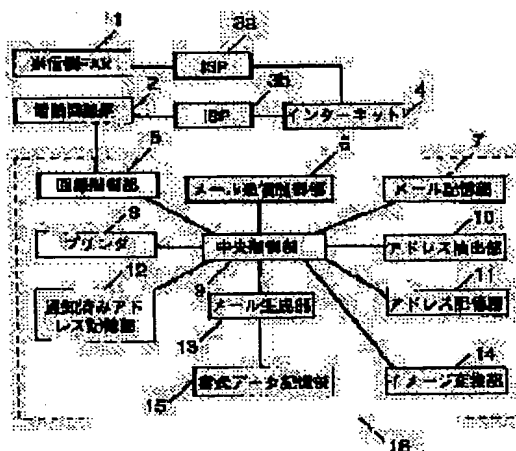
(72)Inventor : SATOU AKIMASA
IMABAYASHI TOKIO

(54) FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a received information to be transmitted by using a mail address of a transmitter included in the transmitter information in a facsimile mail, or a mail header, by transmitting the received information to the transmitter after receiving the facsimile mail.

SOLUTION: An address extraction part 10 encodes data of a mail header part letter by letter, extracts an address of a transmitter and stores it in an address storage part 11. Mail data read out from a mail storage part 7 are converted to printable data and are printed out by a printer 8. Afterward, a mail generation part 13 read out at once format data for received information from a format data storage part 15 and the address of the transmitter stored in the address storage part 11 and prepares data in a mail format that can be transmitted by an internet 4. Then, a mail for received information is transmitted by a mail communication control part 6 to a transmission side facsimile 1 by way of the internet 4.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 1 1 - 2 7 4 8 9

(43) 公開日 平成11年(1999)1月29日

(51) Int. Cl. ⁶		識別記号		F I	
H 0 4 N	1/21			H 0 4 N	1/21
H 0 4 L	12/54			H 0 4 M	11/00 3 0 3
	12/58			H 0 4 N	1/00 1 0 7 Z
H 0 4 M	11/00	3 0 3			1/32 D
H 0 4 N	1/00	1 0 7		H 0 4 L	11/20 1 0 1 C
審査請求 未請求 請求項の数 2			O L (全 4 頁) 最終頁に続く		

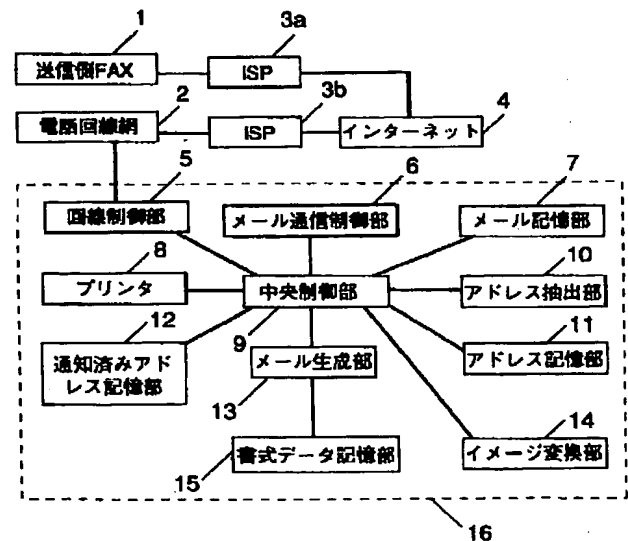
(21) 出願番号	特願平9-179345	(71) 出願人	000005821 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
(22) 出願日	平成9年(1997)7月4日	(72) 発明者	佐藤 曉昌 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器 産業株式会社内
		(72) 発明者	今林 時夫 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器 産業株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 滝本 智之 (外1名)

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 送信端末識別信号に代えて、全てのファクシミリメール中に必ず含まれている送信元情報によって受信通知を送信できるファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】 送信側ファクシミリ装置 1 からのファクシミリメールを受信側ファクシミリ装置 1 6 で受信したときに、ファクシミリメール中に含まれているメールアドレスを読み取って送信側ファクシミリ装置 1 の通信電話番号を特定可能とし、この特定番号に従って受信通知を送信側ファクシミリ装置 1 へ送信可能とするとともに、ファクシミリメールをプリントして出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】電話回線を利用した通信情報ネットワーク経由でファクシミリ文書の通信を行うファクシミリメール通信手段と、受信したファクシミリメールを蓄積するメール蓄積手段と、受信したファクシミリメールのメールヘッダー部からファクシミリメール送信元のメールアドレスを抽出するアドレス抽出手段と、抽出したアドレスを記憶するアドレス記憶手段と、受信通知用のファクシミリメールの書式を作成する書式生成手段と、ファクシミリメールデータをファクシミリ印刷形式に変換する手段と、受信通知用の書式データを記憶する書式データ記憶手段と、ファクシミリメールを受信した後に発信元に受信通知を送信する受信通知送信手段とからなることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 2】受信通知済みのメールアドレスを記憶する通知済みアドレス記憶手段を備え、この通知済みアドレス記憶手段に記憶したアドレスに基づいて受信通知の送信履歴を記録可能としてなることを特徴とする請求項 1 記載のファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電話回線を利用した通信情報ネットワークによる通信機能を備えたファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】文書送信用の電子通信媒体としてファクシミリ装置が従来から広く利用され、高次の機能を持つオフィス用のものから簡単に操作できる家庭用のものまでが普及している。このファクシミリ装置は電話回線に接続され、本機から別機との間での信号のやりとりによって文書の送信及び受信を可能としたものである。

【0003】ファクシミリ装置間のイメージデータの送信及び受信に際しては、発信元から送信先に正しく送信されたかを確認することが重要である。すなわち、たとえば送信先のファクシミリ装置の通信電話番号を登録して短縮番号等とすることで間違いなく送信できるものの、他の登録された通信電話番号に相当する短縮番号で操作してしまうと、送信先を誤ることになり、実際の使用に際してもこのようなことが多発する。したがって、発信者側にとっては送信先に誤りがなければ確認することが必要となる。

【0004】このような送信先の確認のための方法として、送信端末識別信号に含まれる送信端末の電話番号情報を利用して、受信端末から送信端末に受信通知を送信するというものがある。送信端末識別番号とは、ファクシミリプロトコルで定められた 20 桁の番号である。

【0005】したがって、送信端末識別番号を送信する機能を備えたものであればこれを受信側で読み取り、送信側のファクシミリ装置の通信電話番号を抽出すれば、これを利用して受信通知文書を受信側のファクシミリ装

置から送信側に自動的にファクシミリデータとして送信することができる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】ところが、送信端末識別信号に送信側のファクシミリ装置の通信電話番号情報が含まれていなければ、受信側のファクシミリ装置に受信通知機能を備えていても、送信側に受信通知を送ることができない。

【0007】本発明において解決すべき課題は、送信端末識別信号に代えて、全てのファクシミリメール中に必ず含まれている送信元情報によって受信通知を送信できるファクシミリ装置を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、電話回線を利用した通信情報ネットワーク（たとえば、インターネット等）経由でファクシミリ文書の通信を行うファクシミリメール通信手段と、受信したファクシミリメールを蓄積するメール蓄積手段と、受信したファクシミリメールのメールヘッダー部からファクシミリメール送信元のメールアドレスを抽出するアドレス抽出手段と、抽出したアドレスを記憶するアドレス記憶手段と、受信通知用のファクシミリメールの書式を作成する書式生成手段と、ファクシミリメールデータをファクシミリ印刷形式に変換する手段と、受信通知用の書式データを記憶する書式データ記憶手段と、ファクシミリメールを受信した後に発信元に受信通知を送信する受信通知送信手段とからなることを特徴とする。

【0009】このような構成によれば、従来の送信端末識別信号に頼らず、ファクシミリメール中の送信元情報すなわちメールヘッダー部に含まれた送信元のメールアドレスを利用して受信通知を送信することが可能となる。

【0010】

【発明の実施の形態】請求項 1 に記載の発明は、電話回線を利用した通信情報ネットワーク経由でファクシミリ文書の通信を行うファクシミリメール通信手段と、受信したファクシミリメールを蓄積するメール蓄積手段と、受信したファクシミリメールのメールヘッダー部からファクシミリメール送信元のメールアドレスを抽出するアドレス抽出手段と、抽出したアドレスを記憶するアドレス記憶手段と、受信通知用のファクシミリメールの書式を作成する書式生成手段と、ファクシミリメールデータをファクシミリ印刷形式に変換する手段と、受信通知用の書式データを記憶する書式データ記憶手段と、ファクシミリメールを受信した後に発信元に受信通知を送信する受信通知送信手段とからなるものであり、ファクシミリメール中のメールヘッダー部に含まれた送信元のメールアドレスを利用して受信通知の送信を可能とするという作用を有する。

【0011】請求項 2 に記載の発明は、受信通知済みの

メールアドレスを記憶する通知済みアドレス記憶手段を備え、この通知済みアドレス記憶手段に記憶したアドレスに基づいて受信通知の送信履歴を記録可能としたものであり、受信元でも受信通知が管理されるという作用を有する。

【0012】以下、本発明の実施の形態について説明する。図1は本発明の一実施の形態による受信通知機能を備えたファクシミリ装置のブロック構成図、図2は図1のファクシミリ装置の作動のフローチャートである。

【0013】図1において、1は送信側ファクシミリ装置、2は電話回線網、3a、3bはインターネットサービスプロバイダ（以下、「ISP」と記す）であり、送信側ファクシミリ装置1はISP3aを介してインターネット4に接続され、電話回線網2は他方のISP3bを介してインターネット4に接続されている。

【0014】また、5は電話回線網2に対してダイヤル等を行う回線制御部、6はメール通信制御部、7はメール記憶部、8は受信文書を印刷するためのプリンタ、9は中央制御部、10はアドレス抽出部、11はアドレス記憶部、12は通知済みアドレス記憶部、13はメール生成部、14はイメージ変換部、15は書式データ記憶部であり、これらの各機器及び制御系によって受信通知機能を備えたファクシミリ装置としての受信側ファクシミリ装置16が構成されている。

【0015】以上の構成を持つ受信側ファクシミリ装置16の作動は図2に示すフローチャートのとおりである。

【0016】まず、受信側ファクシミリ装置16は、回線制御部5を介して電話回線網2からISP3bにアクセスし、インターネット4で通信可能な状態になる。次に、送信側ファクシミリ装置1からのファクシミリメールをメール通信制御部6により受信すると（ステップS1）、受信したファクシミリメールはメール記憶部7に記憶される。その後、中央制御部9がメール記憶部7に記憶されているファクシミリメールを読み出す。

【0017】ここでアドレス抽出部10は、読み出されたファクシミリメールのメールヘッダー部分のデータを1文字ずつ解読し、送信元のアドレスを抽出し、アドレス記憶部11に格納する（ステップS2）。すなわち、ファクシミリメールのメールヘッダーには、経由してきたサーバーや送信時間及びデータ圧縮情報等が記載されているので、受信通知のために必要なアドレス中の相手先電子メールアドレス等の情報をアドレス記憶部11に記憶させる。

【0018】メール記憶部7より読み出されたメールデータはイメージ変換部14によりファクシミリイメージデータ部分すなわちテキストデータ部分以外が分離され、ファクシミリ装置で印字可能なデータ形式に変換される。ここで変換されたファクシミリイメージデータは、プリンタ8により印刷されて出力される（ステップ

S3）。

【0019】この後、メール生成部13は、受信通知用の書式データを書式データ記憶部15から読み出すと共に、アドレス記憶部11に記憶された送信元のアドレスを読み出し、インターネット4で送信可能なメール形式のデータを作成する（ステップS4）。ここで作成された受信通知用のメールは、メール通信制御部6によりインターネット4を介して送信側ファクシミリ1に送信される（ステップS5）。この受信通知用のメールが送信された後は、中央制御部9によりアドレス記憶部11の送信元アドレスデータは通知済みアドレス記憶部12に格納される。

【0020】このように本発明では、ファクシミリメールを受信した後に自動的にファクシミリメールのメールヘッダー部からファクシミリメール送信元のメールアドレスを抽出して、受信通知書式のファクシミリメールを生成することができる。したがって、送信側ファクシミリ1の送信端末識別番号の中に通信電話番号情報が含まれていなくても、受信後には必ず送信元に受信通知を送信でき、送信元でも受信完了を確認することができる。

【0021】

【発明の効果】請求項1の発明では、送信側ファクシミリ装置の送信端末識別番号に通信電話番号情報が含まれていなくても、ファクシミリメール中の送信元情報を利用して受信通知を送信側のファクシミリ装置に送ることができる。したがって、発信側では送信の度に送信先からの受信通知を受けて確認することができ、誤送や送り忘れ等の管理の向上が図られる。

【0022】請求項2の発明では、受信側においても発信元への受信通知の管理ができるので、発信元で受信通知を紛失してしまっても、受信側に問い合わせることで発信状況を確認することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態による受信通知機能を備えたファクシミリ装置のブロック構成図

【図2】図1のファクシミリ装置の作動のフローチャート

【符号の説明】

1 送信側ファクシミリ装置

2 電話回線網

3a, 3b ISP

4 インターネット

5 回線制御部

6 メール通信制御部

7 メール記憶部

8 プリンタ

9 中央制御部

10 アドレス抽出部（アドレス抽出手段）

11 アドレス記憶部（アドレス記憶手段）

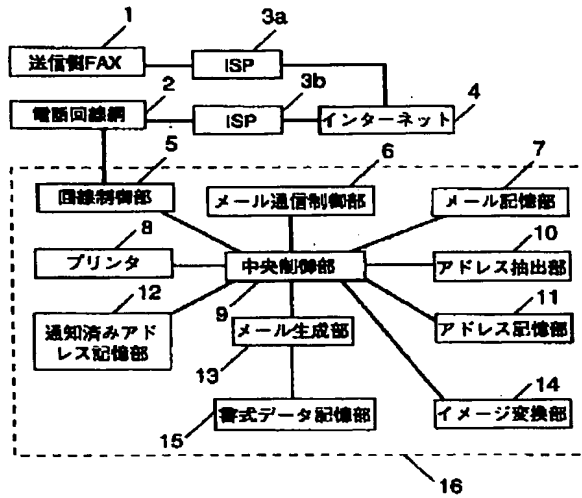
12 通知済みアドレス記憶部（通知済みアドレス記憶

手段)

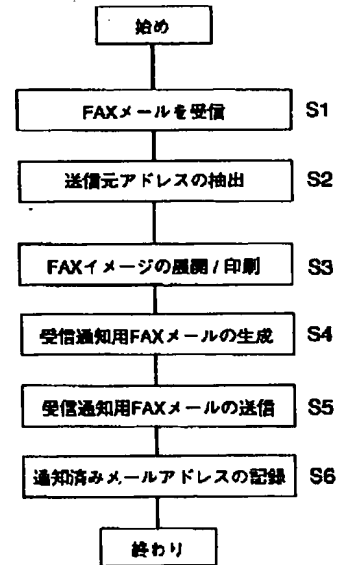
- 1 3 メール生成部
1 4 イメージ変換部

- 1 5 書式データ記憶部 (書式データ記憶手段)
1 6 受信側ファクシミリ装置

【図 1】



【図 2】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁶

識別記号

F I

H 0 4 N 1/32